

No.29

発行／菅地区社会福祉協議会
 発行人／大澤敏夫
 編集人／五嶋庸成
 事務局／川崎市多摩区登戸 1763
 ライフガーデン向ヶ丘 2 階
 福祉パル内
 TEL044-935-5500

菅社協だより

平成30年度 菅地区社会福祉協議会総会を開催

～住民相互の助け合いの心を育てる活動を～

平成30年度の取り組みについて

菅地区社会福祉協議会（以下社協という）では、総会も無事に終了し、29年度に掲げた事業も大過なく終了する事が出来ました。

これも支えて頂いた会員・菅町会を始め、皆様の御尽力の賜物と深く感謝いたしております。

平成28年度には、弱者の支援強化・地域力の向上を目的とした「地域みまもり支援センター」が設置されました。

社協では、センターの目的に沿う様、考慮し引き継がれてきた事業をベースに、小さなお子様からお年寄りの皆様迄が、この町に住んで良かったと、安心して暮らせる町づくりを目指して活動を展開して参ります。

引き続き皆様の御支援とご協力を賜ります様お願いいたします。



大澤会長挨拶

平成30年5月12日（土）、菅会館において菅地区社会福祉協議会の総会が開催されました。

上程された平成29年度の事業報告・決算・監査報告は審議の結果、すべて承認されました。

引き続き新役員（正副会長・会計・総務）の推薦があり異議なく選出されました。

次に平成30年度の事業計画、一般会計予算が上程されすべて承認されました。



菅町会会長挨拶

全体活動計画

- (1) 第13回菅地区社会福祉協議会「社会福祉のつどい」の実施
- (2) 「社会を明るくする運動」への協力
- (3) 研修会の実施
- (4) 会員・賛助会員増強運動の推進
- (5) 地域内各種団体行事・活動への協力
- (6) 共同募金活動・年末助け合い運動への協力
- (7) 老人福祉週間行事に対する支援・協力
- (8) 菅・南菅老人いこいの家の運営に協力

部および委員会活動の紹介

第二回「老人福祉部」部長 本島 詳友

老人福祉部では「安心して暮らせるまちづくり」の一環として、「一人暮らしのお年寄りへ暑中見舞いや年賀状を送る」活動を行っています。

年賀状については、これまで地域の小中学校の皆さんにお手伝いをして頂き、当部員が宛名書きをして送らせてもらっています。

お子さん達の心温まる手描きの年賀状は、毎年お年寄りの方々に喜ばれ、元気と笑顔をお届けすることができています。



▲老人福祉部員による宛名書き



▲年賀状作りを希望する菅小学校児童の皆さん

- 各部・委員会活動計画
- 企画部
- 1

総会に向けての諸準備の協力
- 2

「社会福祉のつどい」実施に協力
- 3

理事視察研修の計画・実施（泊研修）
- 4

「菅社協だより」企画・立案・発行（年2回発行）
- 5

社会を明るくする運動への協力
- 6

合同研修会開催への協力
- 7

各種団体交流活動への協力
- 8

新規事業への取り組み
- 老人福祉部
- 1

「社会福祉のつどい」実施に協力
- 2

一人住まい高齢者へ手紙発送（暑中見舞い、年賀状等）
- 障がい者福祉部
- 1

高齢者・障がい者 体験学習の実施
- 2

障がい者福祉団体への支援・地域福祉行事への協力・交流
- こども福祉部
- 1

母親クラブの育成と子育て支援
- 2

保育ボランティア・チューリップの会への協力
- 3

小児救急救命法講習会の実施
- 4

親子体験教室の実施
- 5

座禅体験の実施
- 6

子育て支援のための研修会の実施
- 7

福祉標語立て看板の管理
- 老人会食委員会
- 1

老人会食活動の実施（年6回）
- 2

献立会、打ち合わせ、研修の実施
- ミニデイケア委員会
- 1

ありのみ会、年12回実施（毎月第3火曜日）
- 2

20周年記念事業の実施（9月）
- 3

施設見学の実施（12月）

平成29年度一般会計 決算書

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

収入総額		4,138,110		
支出総額		2,489,561		
差引残高		1,648,549	(次年度へ繰り越し)	

△=増を表す (単位 円)

収入		支出		
科 目	予算 (A)	決算 (B)	差異 (A-B)	付 記
1 会費	775,800	773,900	1,900	総会、常任理事会等経費
(1) 菅町会	764,000	762,100	1,900	世帯 @100 × 世帯数
(2) 民生委員児童委員	10,800	10,800	0	民生委員 @200 円 × 54 名
(3) 保護司	1,000	1,000	0	保護司 @200 円 × 5 名
2 賛助会費	534,000	517,467	16,533	区社協賛助会費の約 7 割
3 交付金	973,700	968,700	5,000	
(1) 地区社協育成交付金	520,000	520,000	0	共同募金財源 (区社協から)
(2) 地区社協活動費	230,000	230,000	0	共同募金財源 (区社協から)
(3) 母親クラブ育成交付金	10,000	5,000	5,000	1クラブ5000円 (区社協から)
(4) 会食会助成金	144,000	144,000	0	高齢者ふれあい活動支援事業補助金 (市社協から)
(5) 社明運動交付金	69,700	69,700	0	区社明推進委員会から
4 共同募金分会費	97,829	97,871	△ 42	
(1) 共同募金分会費	90,000	90,000	0	
(2) 街頭募金協力費	7,829	7,871	△ 42	
5 寄付金	10,000	68,096	△ 58,096	
6 雑収入	60,000	103,018	△ 43,018	祝い金、預金利息 等
7 繰越金	1,609,058	1,609,058	0	
合計	4,060,387	4,138,110	△ 77,723	

△=増を表す (単位 円)

支出				
科 目	予算 (A)	決算 (B)	差異 (A-B)	付 記
1 会議費	120,000	55,419	64,581	総会、常任理事会等経費
2 事務費	470,000	420,727	49,273	
(1) 事務・消耗費・通信費	70,000	20,727	49,273	切手・はがき・文具等
(2) 事務委託費	400,000	400,000	0	菅町会
3 活動費	1,155,000	1,106,920	48,080	賛助会費財源事業、共同募金財源事業
(1) 企画部費	100,000	99,969	31	
(2) 老人福祉部費	60,000	54,146	5,854	
(3) こども福祉部費	125,000	83,945	41,055	
(4) 障害者福祉部費	96,000	96,000	0	菅みのりの会活動費を含む
(5) 老人会食委員会費	144,000	144,000	0	
(6) ミニデイケア委員会費	110,000	109,506	494	
(7) 研修費	250,000	249,354	646	研修会補助等
(8) 広報費	270,000	270,000	0	菅社協だより (年2回発行)
4 地域福祉推進費	193,000	188,000	5,000	
(1) 社会福祉団体推進費	80,000	80,000	0	共同募金分会費
(2) 母親クラブ育成助成金	10,000	5,000	5,000	5,000 円 × クラブ数
(3) 菅みのりの会助成金	0	0	0	
(4) 老人福祉週間行事費	100,000	100,000	0	敬老行事援助金
(5) 社会福祉行事費	3,000	3,000	0	街頭募金協力金
5 社会福祉のつどい行事費	350,000	341,650	8,350	賛助会費財源事業
6 社明運動活動費	60,000	53,845	6,155	社明運動分担金他
7 負担金	60,000	60,000	0	区社協会費
8 旅費	20,000	20,000	0	
9 渉外費	150,000	143,000	7,000	祝い金、弔慰金他
10 積立金	100,000	100,000	0	特別会計積立金
11 予備費	1,382,387	0	1,382,387	
合計	4,060,387	2,489,561	1,570,826	

平成30年度一般会計 予算書

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

【収入】				△=減を表す (単位 円)	
科 目	前年度予算額	本年度予算額	増 減	付 記	
1 会費	775,800	773,800	△ 2,000		
(1) 菅町会	764,000	762,000	△ 2,000	世帯 @100 円×世帯数	
(2) 民生委員児童委員	10,800	10,800	0	民生委員 @200 円× 54 名	
(3) 保護司	1,000	1,000	0	保護司 @200 円× 5 名	
2 賛助会費	534,000	517,400	△ 16,600	区社協賛助会費の約 7 割	
3 交付金	973,700	973,700	0		
(1) 地区社協育成交付金	520,000	520,000	0	共同募金財源(区社協から)	
(2) 地区社協活動費	230,000	230,000	0	共同募金財源(区社協から)	
(3) 母親クラブ育成交付金	10,000	10,000	0	1クラブ5000円(区社協から)	
(4) 会食会助成金	144,000	144,000	0	高齢者ふれあい活動支援事業補助金(市社協から)	
(5) 社明運動交付金	69,700	69,700	0	区社明推進委員会から	
4 共同募金分会費	97,829	97,871	42		
(1) 共同募金分会費	90,000	90,000	0		
(2) 街頭募金協力費	7,829	7,871	42		
5 寄付金	10,000	30,000	20,000		
6 雑収入	60,000	60,000	0	祝い金、預金利息 等	
7 繰越金	0	90,000	90,000		
8 繰越金	1,609,058	1,648,549	39,491		
合計	4,060,387	4,191,320	130,933		

【支出】				△=減を表す (単位 円)	
科 目	前年度予算額	本年度予算額	増 減	付 記	
1 会議費	120,000	110,000	△ 10,000	総会、常任理事会等経費	
2 事務費	470,000	450,000	△ 20,000		
(1) 事務・消耗費・通信費	70,000	50,000	△ 20,000	切手・はがき・文具等	
(2) 事務委託費	400,000	400,000	0	菅町会	
3 活動費	1,155,000	1,197,000	42,000	賛助会費財源事業、共同募金財源事業	
(1) 企画部費	100,000	90,000	△ 10,000		
(2) 老人福祉部費	60,000	50,000	△ 10,000		
(3) こども福祉部費	125,000	105,000	△ 20,000		
(4) 障害者福祉部費	96,000	86,000	△ 10,000		
(5) 老人会食委員会費	144,000	144,000	0		
(6) ミニデイケア委員会費	110,000	100,000	△ 10,000		
(7) 研修費	250,000	350,000	100,000	研修会補助等	
(8) 広報費	270,000	272,000	2,000	菅社協だより(年2回発行)	
4 地域福祉推進費	193,000	193,000	0		
(1) 社会福祉団体推進費	80,000	80,000	0	共同募金分会費	
(2) 母親クラブ育成助成金	10,000	10,000	0	5,000 円×クラブ数	
(3) 菅みのりの会助成金	0	0	0		
(4) 老人福祉週間行事費	100,000	100,000	0	敬老行事援助金	
(5) 社会福祉行事費	3,000	3,000	0	街頭募金協力金	
5 社会福祉のつどい行事費	350,000	350,000	0	賛助会費財源事業	
6 社明運動活動費	60,000	69,700	9,700	社明運動分担金他	
7 負担金	60,000	60,000	0	区社協会費	
8 旅費	20,000	20,000	0		
9 渉外費	150,000	150,000	0	祝い金、弔慰金他	
10 積立金	100,000	1,300,000	1,200,000	特別会計積立金	
11 ありのみ会20周年記念事業費	0	90,000	90,000		
12 予備費	1,382,387	201,620	△ 1,180,767		
合計	4,060,387	4,191,320	130,933		

平成30年度 役員紹介

管地区社会福祉協議会総会



顧問
田口 侑司
川崎 善太郎
井口 文夫

監査
上原 光男
倉橋 美弥子

相談役
濃沼 健夫
近藤 祐弘
佐野 俊一
平山 順一

会長 大澤 敏夫

副会長 近藤 充紀

上原 武

家村 知與子

会計 八巻 暁

小池 多恵子

総務 小嶋 晴夫

大友 真寿美

企画部

部長 五嶋 庸成

企画部の活動、年2回9月、2月に広報紙「管社協だより」1万部(企画、立案)発行。理事視察研修、合同研修会(賛助会員含む)の計画実施。総会、社会福祉のつどい、社明運動、等実施に関する諸準備の協力。

更に地域の、皆様のご意見、ご要望、等にも対応して参ります。

老人会食委員会

委員長 廣田 公子

老人会食委員会は、年六回会食を開催しています。

季節を感じて頂ける献立と健康チェック、頭の体操や色々な楽器に合わせて、歌ったり、楽しい時間を過ごしています。利用者の皆様の笑顔とお誉めの言葉を励みに、スタッフ一同今年も美味しいお食事を作っています。

老人福祉部

部長 本島 詳友

老人福祉部は、一人暮らしのお年寄りに、熱中症予防等踏まえ、暑中見舞い葉書をお届けしています。また、年賀状づくりは、地域のお子さん達にお手伝いをして頂きお送りする活動を行っています。今後も、高齢者に少しでも寄り添う活動を行ってまいります。

ミニデイケア委員会

委員長 小嶋 晴夫

要介護の方をご家庭で介護されている家族の負担を少しでも和らげたいとの思いで、毎月第三火曜日に菅老人いこいの家でボランティアによるデイサービスを提供しています。健康チェックの後、ゲームやカラオケ等を楽しんでいます。昼食はスタッフの手作り料理を皆で頂きます。利用者はスタッフが責任をもって車で自宅まで送迎しています。

各部長・委員長からひとこと

こども福祉部

部長 金成 典子

こども福祉部では、乳幼児を対象に離乳食講座や親子体操教室をはじめ地域の歴史を学べる親子座禅体験などを行っています。活動を通して部員一同、PTAや地域の方々と協力しこどもたちの育ちを支援しています。

菅老人いこいの家

委員長 西山 昇孝

菅老人いこいの家では、毎年秋に開催する、講座発表会と称し利用者が、夏の暑い日、冬の木枯らしの吹く寒い日に、いこいの家に通い、学習をした成果を発表します。

菅老人いこいの家では、狭いので、菅会館二階、三階を借りて秋の一日を盛会に行っています。

障がい者福祉部

部長 五嶋 功光

菅中学校・南菅中学校での車椅子・点字・視覚・高齢者の疑似体験学習が主な活動となっており、学校側より貴重な体験をして生徒達が福祉について改めて考え方が変わって来たとの返事を受け、これからの活動に励みを感じています。又、多摩区全体の障害者交流会にも積極的に参加し、ハンディを持つ人達への支援を続けてまいります。

南菅老人いこいの家

委員長 小川 正年

あつと云う間に、米寿を迎えた。社明については、45年かかった。いこいの家は、現役時に王禪寺のいこいの家の草刈りした事が、昨日の様だ。退職して民生委員を拝命し、老人いこいの家に関係し、29年、ふれあい、親睦、生涯学習を、目標に、私は親からもらった、名前セイネンで頑張る。

民生委員児童委員

20年勤続功労者表彰

第70回川崎市民生委員児童委員会

(平成30年5月24日)

上原 清
小池 多恵子

◆地域の活動案内(第一回)◆

菅地区の高齢者や児童を対象とした
いろいろな活動を紹介していきます。

すげカフェ ～高齢者の集いの場～

毎月第二金曜日13時30分から2時間、ど
なたでも自由に集まり、おしゃべりできる
場「すげカフェ」が菅老人いこいの家でス
タートしました。介護・医療の専門職もい
るので気軽に相談もできます。おいしいコー
ヒーを飲みながら楽しく交流しませんか。
参加費は100円です。

主催・すげカフェ実行委

員会、地域包括支援セン

ター菅の里

問い合わせ先・地域包括

支援センター菅の里

946-5514



お知らせ

第13回菅地区社協

「社会福祉のつどい」

日時 平成30年12月1日(土)12時から
場所 菅小学校・体育館

俳句

菅老人いこいの家
指導 葛野 良子

夕きりの海を眼下に夏料理

原島 芙美江

先に寝る夫の足音秋灯し

飯塚

有子

野分あと葉裏に動く命あり

神部

邑子

短歌

菅老人いこいの家
指導 句坂美佐子

近頃は雀も蜜の味を知り

桜の花を啄み散らす

村田

忠和

孫達のそれぞれの幸祝事に

嬉しき祖母我心より待つ

恩田

きみ子

朝七時娘の出勤玄関で

ハイタッチの手音たかく鳴る

安藤 八重子

◆賛助会員加入のお願い◆

賛助会員とは

賛助会員は、多摩区社会福祉協議会と
多摩区の5つの地区社会福祉協議会(登
戸、菅、中野島、稲田、生田)が進める地域福祉活動の趣旨にご賛同くださる皆
様より、1口千円の賛助会費をご協力い
ただくことで地域福祉活動を支援してい
くものです。ご協力いただいた賛助会費は地域福祉
の推進に活用させていただきます。レッツ・トライ
—老人会食委員会—
キーマカレー

献立

- ・キーマカレー
- ・キャロットラペ
- ・グリーンホットサラダ
- ・レタスコーンスープ
- ・フルーツヨーグルト

材料(2人分)

- ・豚挽肉 140g
- ・玉ねぎ 1/2 個
- ・人参 1/3 本
- ・ピーマン 2/3 個
- ・ひよこ豆 少量

- ・トマト缶 1/3 缶
- ・カレールー 3 カケ
- ・カレー粉 少々
- ・にんにく・しょうがチューブ 少々
- ・塩胡椒 少々
- ・温泉卵 2 個

作り方

- ① 玉ねぎ・人参・ピーマンはみじん切りにする
- ② 挽肉と①を油で炒め、塩胡椒・カレー粉・にんにく・しょうがで味をつける
- ③ トマト缶を入れて水分を飛ばすように煮詰め、ひよこ豆・カレー粉を入れる
- ④ 盛り付けたカレーの上に温泉卵を飾って完成です。

コラム

「今がチャンス」

名探偵コナン似の少年の顔
が表紙になっている「君たちは
どう生きるか」の本が目が点
に。又、「私たちは100歳まで
どう生きるか?」という別の
本も目に飛び込んできました。
定年後60代に何をすべきかを
問う本が、気になる年齢にな
りました。

体調管理と同様に家電や車
も10年間休まず使用してい
ると、定期点検が必要となりま
す。成人式から3倍の還暦も
過ぎ、定年後や年金支給開始
のこの時期に、これからの人生
どう生きるかを問い直すには、
良いチャンスです。

本によれば、理想は自分を
再発見し得意と好きを知り、
人生設計の充実を図るとあり
ます。

私は自身の座右の銘である
「継続は自分との戦いである」
を念頭に、自分との戦いを楽
しむ60代にしたいと思います。
60代を精力的に動けば、70代
以降は自然体生きて行ける
のではないかと考えております。

清水 理